

全体貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	29,321	固定負債	9,515
有形固定資産	27,139	地方債等	9,209
事業用資産	20,014	長期未払金	-
土地	10,772	退職手当引当金	306
土地減損損失累計額	-	損失補償等引当金	-
立木竹	-	その他	-
立木竹減損損失累計額	-	流動負債	1,074
建物	21,212	1年内償還予定地方債等	924
建物減価償却累計額	△12,147	未払金	16
建物減損損失累計額	-	未払費用	-
工作物	184	前受金	-
工作物減価償却累計額	△19	前受収益	-
工作物減損損失累計額	-	賞与等引当金	93
船舶	-	預り金	42
船舶減価償却累計額	-	その他	-
船舶減損損失累計額	-	負債合計	10,589
浮標等	-	【純資産の部】	
浮標等減価償却累計額	-	固定資産等形成分	30,703
浮標等減損損失累計額	-	余剰分(不足分)	△10,021
航空機	-		
航空機減価償却累計額	-		
航空機減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	12		
インフラ資産	6,969		
土地	1,846		
土地減損損失累計額	-		
建物	1,628		
建物減価償却累計額	△823		
建物減損損失累計額	-		
工作物	30,082		
工作物減価償却累計額	△26,353		
工作物減損損失累計額	-		
その他	1,034		
その他減価償却累計額	△643		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	199		
物品	393		
物品減価償却累計額	△238		
物品減損損失累計額	-		
無形固定資産	-		
ソフトウェア	-		
その他	-		
投資その他の資産	2,182		
投資及び出資金	269		
有価証券	-		
出資金	269		
その他	-		
投資損失引当金	△75		
長期延滞債権	174		
長期貸付金	-		
基金	1,823		
減債基金	-		
その他	1,823		
その他	-		
徴収不能引当金	△10		
流動資産	1,950		
現金預金	469		
未収金	107		
短期貸付金	-		
基金	1,382		
財政調整基金	1,121		
減債基金	261		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	△8		
繰延資産	-		
資産合計	31,271	純資産合計	20,682
		負債及び純資産合計	31,271

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体行政コスト計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	9,535
業務費用	4,580
人件費	1,339
職員給与費	1,234
賞与等引当金繰入額	4
退職手当引当金繰入額	-
その他	102
物件費等	2,965
物件費	1,790
維持補修費	404
減価償却費	767
その他	4
その他の業務費用	276
支払利息	78
徴収不能引当金繰入額	102
その他	96
移転費用	4,955
補助金等	4,110
社会保障給付	747
他会計への繰出金	92
その他	6
経常収益	549
使用料及び手数料	365
その他	184
純経常行政コスト	△8,986
臨時損失	194
災害復旧事業費	119
資産除売却損	-
投資損失引当金繰入額	75
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	1
資産売却益	1
その他	-
純行政コスト	△9,178

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体純資産変動計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	20,293	30,155	△9,862
純行政コスト(△)	△9,178		△9,178
財源	9,566		9,566
税収等	6,064		6,064
国県等補助金	3,502		3,502
本年度差額	388		388
固定資産等の変動(内部変動)		547	△547
有形固定資産等の増加		753	△753
有形固定資産等の減少		△767	767
貸付金・基金等の増加		606	△606
貸付金・基金等の減少		△46	46
資産評価差額	-	-	
無償所管換等	1	1	
その他	-	-	-
本年度純資産変動額	389	548	△159
本年度末純資産残高	20,682	30,703	△10,021

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体資金収支計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	8,766
業務費用支出	3,811
人件費支出	1,430
物件費等支出	2,193
支払利息支出	78
その他の支出	111
移転費用支出	4,955
補助金等支出	4,110
社会保障給付支出	747
他会計への繰出支出	92
その他の支出	6
業務収入	9,752
税込等収入	6,059
国県等補助金収入	3,168
使用料及び手数料収入	363
その他の収入	162
臨時支出	119
災害復旧事業費支出	119
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	867
【投資活動収支】	
投資活動支出	1,685
公共施設等整備費支出	1,078
基金積立金支出	606
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	519
国県等補助金収入	334
基金取崩収入	183
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	1
その他の収入	-
投資活動収支	△1,166
【財務活動収支】	
財務活動支出	924
地方債償還支出	924
その他の支出	-
財務活動収入	871
地方債発行収入	871
その他の収入	-
財務活動収支	△52
本年度資金収支額	△351
前年度末資金残高	779
本年度末資金残高	427

前年度末歳計外現金残高	57
本年度歳計外現金増減額	△16
本年度末歳計外現金残高	42
本年度末現金預金残高	469

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法
- ① 有形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価
ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。
イ 昭和60年度以後に取得したもの
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価
ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。
- ② 無形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価
- (2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法
- ① 満期保有目的有価証券……………償却原価法（定額法）
- ② 満期保有目的以外の有価証券
ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格（売却原価は移動平均法により算定）
イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））
- ③ 出資金
ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格（売却原価は移動平均法により算定）
イ 市場価格のないもの……………出資金額
- (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- ① 原材料、商品等……………先入先出法による低価法
ただし、一部の連結対象団体においては、最終仕入原価法によっています。
- (4) 有形固定資産等の減価償却の方法
- ① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物 6年～50年
工作物 10年～60年
物品 3年～15年
- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
（ソフトウェアについては、当町における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）
- ③ リース資産
ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

長期貸付金については、過去5年間の平均不納欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうち徳之島町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

ただし、一部の連結対象団体においては、主として期末における退職給付債務及び年金資産の見込み額に基づき計上しています。

③ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

通常の見込額取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の見込額取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体（会計）については、税抜方式によっています。

(9) 連結対象団体（会計）の決算日が一般会計等と異なる場合の処理

決算日と連結決算日の差異が3か月を超えない連結対象団体については、当該連結対象団体の決算を基礎として連結手続を行っていますが、決算日と連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。

2. 重要な後発事象

該当なし

3. 追加情報

(1) 連結対象団体（会計）

団体(会計)名	区分	連結の方法	比例連結割合
国民健康保険事業特別会計	公営事業会計	全部連結	-
介護保険事業特別会計	公営事業会計	全部連結	-
後期高齢者医療特別会計	公営事業会計	全部連結	-
農業集落排水事業特別会計	公営事業会計	全部連結	-
公共下水道事業特別会計	公営事業会計	全部連結	-
水道事業特別会計	地方公営企業会計	全部連結	-

なお、連結対象とすべき団体（会計）のうち、当該団体（会計）財務書類作成状況により、連結をしていない団体（会計）があります。

連結の方法は次のとおりです。

① 地方公営事業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし、地方公営企業法の財務規定等が適用されていない地方公営企業のうち、当該規定等の適用に向けた作業に着手しているもの（平成29年度までに着手かつ集中取組機関内に当該規定等を適用するものに限り。）については、連結対象団体（会計）の対象外としています。したがって、一般会計等における他会計への繰出金等が内部相殺されない場合があります。

簡易水道事業会計 企業債残高 1,166百万円
 他会計繰入金 92百万円

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき、出納整理期間を設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

千百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

普通財産として管理している公有財産のうち売却可能な資産

イ 内訳

事業用資産 506百万円（223百万円）

土地 506百万円（223百万円）

令和2年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

売却可能価額は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律における評価方法によっています。

上記の（223百万円）は貸借対照表における簿価を記載しています。

【様式第5号】

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:百万円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	31,879	302	-	32,181	12,167	443	20,014
土地	10,766	6	-	10,772	-	-	10,772
立木竹	-	-	-	-	-	-	-
建物	21,002	209	-	21,212	12,147	435	9,064
工作物	100	84	-	184	19	8	165
船舶	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	10	2	-	12	-	-	12
インフラ資産	34,428	360	0	34,788	27,819	288	6,969
土地	1,843	3	0	1,846	-	-	1,846
建物	1,628	-	-	1,628	823	80	804
工作物	29,784	298	-	30,082	26,353	181	3,729
その他	1,032	2	-	1,034	643	27	391
建設仮勘定	142	58	-	199	-	-	199
物品	303	91	-	393	238	35	156
合計	66,610	753	0	67,362	40,223	767	27,139

② 有形固定資産の行政目的別明細

(単位:百万円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	3,153	12,142	90	376	488	73	3,692	20,014
土地	107	8,431	-	-	8	-	2,226	10,772
立木竹	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	3,007	3,604	90	376	460	73	1,454	9,064
工作物	27	107	-	-	20	-	12	165
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	12	-	-	-	-	-	-	12
インフラ資産	3,383	-	-	3,423	163	-	-	6,969
土地	1,618	-	-	64	163	-	-	1,846
建物	-	-	-	804	-	-	-	804
工作物	1,659	-	-	2,069	-	-	-	3,729
その他	-	-	-	391	-	-	-	391
建設仮勘定	105	-	-	94	-	-	-	199
物品	3	41	5	1	11	92	3	156
合計	6,539	12,183	94	3,800	662	165	3,695	27,139